心を遣う

～がまんする、思いやる、感謝する～

山崎東中学校３学年通信　第５４号

２０１８年１月１７日（水）

《　備えあれば憂いなし　》

２３年前の今日、１月１７日午前５時４６分に阪神淡路大震災がありました。

昨日の５校時図書室で鳥越先生から「震災を知る」というお話をしていただきました。６校時には地震による火災を想定した避難訓練を行いました。みんなの真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

昨年は私の方から被災体験を話しましたが、大切なことは「備える」ということだと思っています。

・常に身につけておくもの
・避難するときに必要なものをまとめておくこと
・１週間分の水・食料の準備
・家の中で家具などが倒れてこないようにすること
・家族が集まる避難場所を決めておく・・・など





避難訓練も含めてこれらの準備は、実際に準備しておくと役に立つことはもちろんですが、備えていることで心に余裕ができ、実際の震災の場面で落ち着いて行動できることにつながる、「心の備え」にもなります。

また、避難所で活躍するのが、みなさんのような中高校生の若者です。実際にいろんな働きをすることだけでなく、みんなのハツラツとした姿が、高齢者や負傷者の人たちに勇気を与える存在になります。

実際に２３年前の震災の翌日には、私が勤務していた西宮市立山口中学校の生徒会役員が救援物資を抱えて、西宮の被災地に向かっていました。みなさんはもう、やってもらう存在ではなく、人の役に立つ、やってあげられる存在です！！

《　推薦委員会を受けて･･･　》

本日５時より調査書作成委員会・推薦委員会を行います。校長先生、教頭先生、３学年の教師団、教科の先生、１，２学年まとめの先生方で、みんなの進路について検討する会です。その会議を受けて公立高校の推薦・特色選抜希望者には、担任の先生から家庭に連絡をします。

推薦・特色選抜の受検が可能になったからといって、簡単に合格できるとは思わないでください。推薦委員会ではこれからの本人の頑張りも含めて検討しています。

来週２２日からは推薦・特色選抜・私立専願者の面接・作文練習が始まります。指導していただく先生方に感謝の気持ちを忘れずに、精一杯取り組みましょう。

《　宍粟市書初展について　》

１月２０日（土）、２１日（日）の２日間、宍粟防災センター５階で宍粟市書初展が行われます。先日の校内書き初め大会で選ばれて、展示されている人は以下の通りです。

配布されたものには、氏名が記載されています